

3歳児聴覚検査のお知らせ

必ず自宅で検査を行い、結果を記入して3歳児健診の日にお持ちください。

聴力検査の必要性

この検査はことばの習得に遅れをもたらす難聴を発見し、ことばの遅れに伴う発達の遅れを防ぐために重要な検査となります。必ず検査を実施し、お子さんの耳の状態を確認してください。



聴力検査の方法

【検査の前の準備】

- ① 保護者が行うささやき声による検査です。
- ② テレビなどの音を消して部屋をしずかにしてから検査をしてください。
- ③ 絵シートを子どもの方向に向けて置き、テーブルなどをはさんで1mくらい離れ、向かい合って座ります。(上図を参照)

【練習しましょう】

- ① まず普通の声（会話する時の声）で練習をしましょう。
- ② 「この中の絵の名前を言うから、お母（父）さんが言った絵を指さしてね。」などと子どもに説明し、普通の声で絵シートの表示した名前（2文字）を言い、子どもが6個の絵を全て正しく指せるように練習しましょう。
※「ワンワン」ではなく「いぬ」というように呼び方を教えます。

【検査をしましょう】

- ① 検査をしましょう。(上図を参照)
「今度は小さな声で名前を言うから、よく聞いて、指さしてね。」と子どもに説明し、口元を手や紙などで隠し、6個の絵を、ささやき声で1回ずつ言います。
- ② 正しく指させればアンケートの表に○、正しく指させなければ×を記入します。

【検査の時に注意すること】

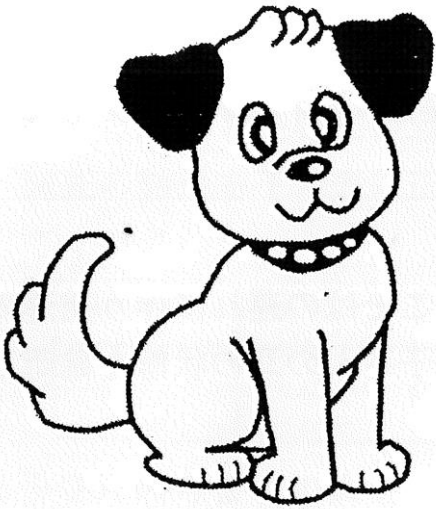
- ① 絵の名前を言うのは1回だけです。聞き返されても繰り返し言わないでください。
- ② ささやき声が大きくなるように注意してください。

【ささやき声とは】

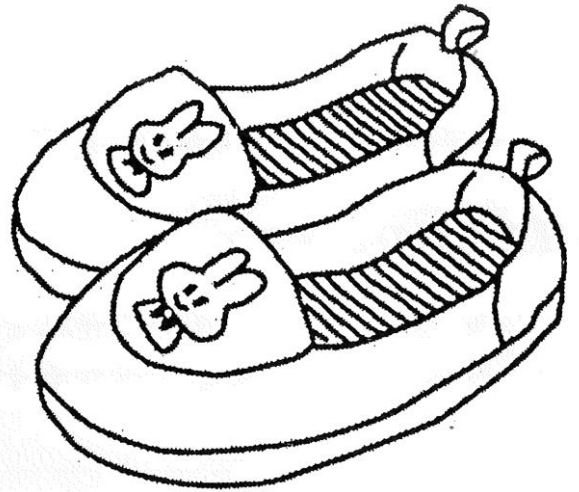
ささやき声は、息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。普通の声はのど（のどぼとけ）に手をあてたとき、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動が感じられません。この状態が”ささやき声”です。

絵シート

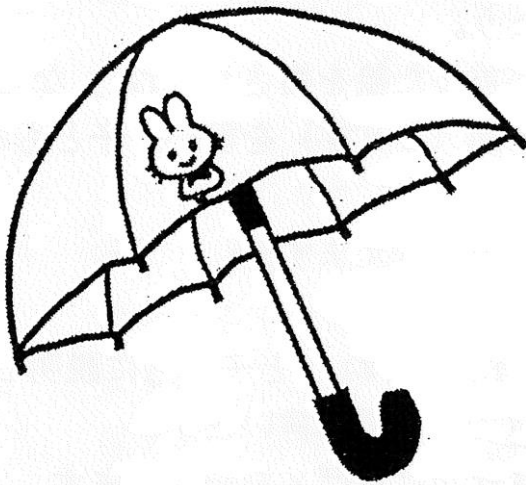
犬



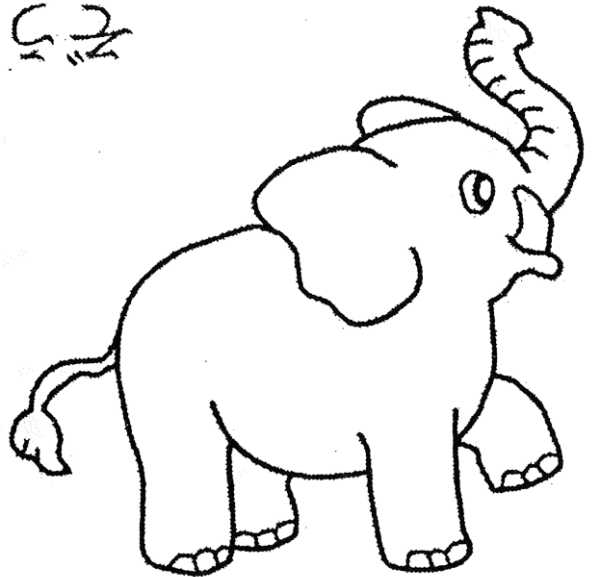
靴



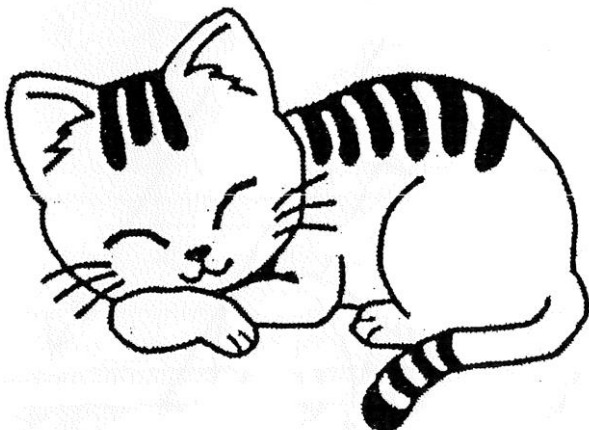
傘



象



猫



椅子

